日本航空 OB 乗員 有志の会ニュース

2015. 9. 29
No.15-025

HP：http://jalfltcrewob.web.fc2.com/
Mail：jalfltcrewob@gmail.com

安全で明るい JAL

乗員流失が止まらない

JAL　運航維持のためには安全教育までやめる

経営の大失策

経営は、早急に職場要求「安全運航・労働条件の改善と整理解雇撤回」に対して具体的に応える事が必要

JAL は 6 月 29 日、次のような運航本部の通達を出しています

「(更なる)退職者の発生を想定して、全機種で生産対応が必要。・・・・教育・ 訓練・会議体・地上業務の見直し、削減する。・・・現場とのコミュニケーショ ンを密に、乗員計画を策定、JAL で働き続けたいと思えるような職場を目指し、あらゆる施策に取り組む所存」

これに対し、機長組合は「公開質問状」を発信

安全教育を削減できるとした根拠は何か？
「JAL で働き続けたいと思えるような職場」とは？

国会でも指摘される

「安全性に極めて重大な問題」「解雇者を職場に戻さなければ真の再生は終わらない」

8 月 26 日 国土交通委員会より
（穀田委員)「今、社内文書によると、今年度におけるそういうパイロットの自主退職が続いて新しい運航体制さえもままならぬ、だから、地上職の仕事もやめてでもやるというようなことまでやっています。
　ですから、安全性に極めて重大な問題が出てきているということも私は一言言っておきたいと思うんです。

だから、解雇者を職場に戻さなければ真の再生は終わらないと私は思っています。御巣鷹山の事故三十年のことし、事故後、会社が誓った絶対安全の確立、現場第一主義、労使関係の安定、融和、この誓いに立ち返って、物言う労働者の存在こそ、その保障という立場で私は対処すべきだというふうに思っています。
・・・ＪＡＬに社会的責任を果たせと。そして、自主解決のために、また厚労省も含めて、国交省も含めて、そういう働く人たちのそういう声をしっかり聞いて対処すべきだ」

リンク

機長組合ニュース：30-002

詳細は、枠内をクリックして御覧下さい。

2015 年度夏季カンパ支援取り組み参加
宜しくお願い致します

今後の日程

宣伝行動・各地集会：原告団 HP 日程参照